

ELP5 ルーブリック

	到達目標	評価				
		S	A	B	C	D
1	さまざまな英語構文を理解できる。(F)	さまざまなテーマの英文を読み、英文の構造を理解しながら、内容を正しく把握できる。	さまざまなテーマの英文を読み、英文の構造を理解しながら、内容を8割程度把握できる。	さまざまなテーマの英文を読み、英文の構造を理解しながら、内容を7割程度把握できる。	さまざまなテーマの英文を読み、英文の構造を理解しながら、内容を6割程度把握できる。	さまざまなテーマの英文を読み、英文の構造を理解しながら、内容を把握することが困難である。
2	円滑なコミュニケーションに必要なより多くの語彙を理解・使用できる。(F)	コミュニケーションに必要なとされる単語や語句を正しく理解できる。	コミュニケーションに必要とされる単語や語句を8割程度理解できる。	コミュニケーションに必要とされる単語や語句を7割程度理解できる。	コミュニケーションに必要とされる単語や語句を6割程度理解できる。	コミュニケーションに必要とされる単語や語句を理解することが困難である。
3	英文中で述べられた複数の情報を関連づけ、理解することができる。(F)	複数の情報を読み取り、それらを関連づけ、正しく理解することができる。	複数の情報を読み取り、それらを関連づけ、8割程度理解することができる。	複数の情報を読み取り、それらを関連づけ、7割程度理解することができる。	複数の情報を読み取り、それらを関連づけ、6割程度理解することができる。	複数の情報を読み取り、それらを関連づけ、理解することが困難である。
4	多読や e-learning の活用により、授業外での学習習慣が確立できる。(F)	e-learning を活用して、授業外での学習習慣が確立できる。	e-learning を活用して、授業外での学習習慣が8割程度確立できる。	e-learning を活用して、授業外での学習習慣が7割程度確立できる。	e-learning を活用して、授業外での学習習慣が6割程度確立できる。	e-learning を活用して、授業外での学習習慣を確立することが困難である。
5	小グループワークやペアワークによって、他者と協働するコミュニケーションを持つことができる。(F)	小グループワークやペアワークによって他者と協働する中で、コミュニケーションを深めることができる。	小グループワークやペアワークによって他者と協働する中で、コミュニケーションを深める姿勢が見られる。	小グループワークやペアワークによって他者と協働する中で、コミュニケーションを図る姿勢が見られる。	小グループワークやペアワークによって他者と協働する中で、コミュニケーションを図る姿勢がある程度見られる。	小グループワークやペアワークによって他者と協働する中で、コミュニケーションを図ることが困難である。

定期試験: 50

e-learning(ALC): 20

主体的・協働的学習: 20

多読: 10